

第9回地域警察国際セミナー閉会式 大使挨拶

本日は、将来を担うミナスジェライス州軍警察官がこのように多数出席する地域警察国際セミナーに出席することができ大変嬉しく思います。ミナスジェライス州軍警察総司令官のヘルベルチ・フィゲイロ・デ・ロウルデス大佐をはじめとする関係者の皆様、本セミナーへのご招待、誠にありがとうございます。

2005年に始まった地域警察活動普及プロジェクトは、2014年の安倍総理訪伯時に日伯両首脳間でも話し合われた歴史と実績あるプロジェクトです。同プロジェクトは本年1月に終了となりましたが、こうした治安分野での協力は、ブラジル国民の安全や福祉の更なる向上のみならず、在留邦人保護や治安改善による民間投資増加を期待できることから、両国の経済関係の発展のために今後とも引き続き協力していきたいと考えています。

日本の地域警察の理念は、「警察と地域が協力しあい、協働して地域の治安を守る」というものです。住民にとって交番は、警察官を身近に感じることができる場所として認識されており、警察と地域が協力関係を形成するうえで、不可欠な存在です。

これまでの地域警察活動普及プロジェクトを通じ、地域警察の基本理念は、既に伯国内に普及しつつあると認識しています。他方、今後も伯全土において地域警察活動が自立的かつ継続的に普及・浸透していくため、SENASP（国家公安局）や、ミナスジェライス州を始めとしたモデル州のイニシアティブに期待しています。

日伯は自由、民主主義、人権、法の支配など基本的価値観を共有し、国際場裡でも協力する重要なパートナーです。今後も、このような機会を通じて、我々の経験が活かされ、治安改善の一助となることを祈念して私の挨拶とさせていただきます。